

核酸含有 PLGA ナノ粒子技術を用いた経口 DDS 製剤に関する特許成立(日本)について

当社は、アンジェス MG 株式会社(本社:大阪府茨木市、代表取締役社長 山田 英、以下アンジェス MG)、森下仁丹株式会社(本社:大阪府大阪市中央区、代表取締役社長 駒村 純一、以下森下仁丹)および大阪大学大学院医学系研究科と実施した産学共同開発プロジェクト*の成果の一つである「核酸含有 PLGA ナノ粒子技術を用いた経口 DDS 製剤」に関する特許が国内で成立しましたのでお知らせします(特許第 5992247 号)。

本特許は、核酸医薬である NF- κ B デコイオリゴをホソカワミクロンが開発した PLGA ナノ粒子に含有させ、さらに森下仁丹が持つ腸溶性シームレスカプセルに内包した経口製剤です。医薬品の生体内での安定性を高める PLGA ナノ粒子技術と医薬品を腸まで確実に届ける腸溶性シームレスカプセル技術を組み合わせることで、核酸医薬(NF- κ B デコイオリゴ)の生体内での高い安定性と薬理効果の発揮が期待されるものです。難治性炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)の根治治療として期待される技術であり、今後、核酸医薬品の経口製剤として早期実用化を目指した取り組みを進めて参ります。

※本産学共同開発プロジェクトの一部は、経済産業省の戦略的技術支援事業「地域イノベーション創出 研究開発事業」の助成を受けて実施されました。

以上

<ご参考> 用語の解説

1. PLGA

乳酸／グリコール酸共重合体。生体適合性・親和性を特徴とする高分子。

2. 腸溶性シームレスカプセル

胃酸によるダメージを防ぎ、内包した物質を腸まで届けることができるカプセル技術。

3. NF- κ B デコイオリゴ (NF- κ B decoy oligodeoxynucleotide)

生体内で免疫・炎症反応を担う遺伝子群のスイッチ『転写因子 NF- κ B』に対する特異的な阻害剤。